

平成22年度学校評価（自己評価・関係者評価）集計結果一覧

兵庫県立淡路特別支援学校

領域	観点	No.	アンケート内容	自己評価		保護者評価		地域評価	
				H21	H22	H21	H22	H21	H22
教育課程	個に応じた学習指導の徹底	1 (1)	学校は個々の児童生徒の個性・特性と実態を把握し、きめ細かな指導を行っている。	b	a	a	a	c	b
		2	学校は懇談や家庭訪問を活かして、保護者と連携を取りながら個別の教育支援を行っている。	a	a				
	道徳教育・社会性の育成	3 (2)	学校は教育活動の中で、道徳性・社会性（あいさつ・マナー・ルール等）を育てよう努力している。	a	a	a	a	b	b
		4	教職員と児童生徒とのコミュニケーションはとれている。	a	a				
	特別活動（学校行事など）	5 (3)	学校は特別活動（体育祭・学習発表会・HR活動等）に児童生徒の自主的な参加を促し、その活動を活発に行っている。	a	a	a	a	b	a
		6	学校は学校行事の精選と内容の充実に取り組んでいる。	b	a				
		7	学校は宿泊学習・体験活動で、児童生徒の自主性・自立心・社会性を養うよう努めている。	a	a				
学校運営	開かれた学校づくり	8 (4)	学校と保護者との連携を深めるためのPTA活動が行われている。	a	a	a	a	b	b
		9	連絡ノート、個別懇談、学年懇談、家庭訪問を通して保護者とコミュニケーションがとれている。	a	a				
		10 (5)	広報、各学部・学年通信の定期的発行、ホームページの定期的更新により、学校の教育活動の紹介がなされている。	a	a	a	a	b	a
		11 (6)	学校は地域の児童生徒との交流を活発にしたり、地域社会との連携を強化して、地域に根ざした教育・学校づくりを推進している。	a	a	a	a	b	b
		12 (7)	学校行事はPTA、地域の人々、隣接施設に紹介され、参加協力を得ている。	a	a	a	a	a	b
	13	学校評議員会が計画的に行われ、その意見が教育活動に活かされている。	b	a					
	個に応じた進路指導の徹底	14	学校は児童生徒の発達段階に応じて、職業や勤労に対する考え方を育てている。	b	a				
		15	進路担当を中心にして、入学から卒業までを見通した組織的・計画的な進路指導が行われている。	c	b				
		16	学校は卒業生の連絡先と連携を保ち、アフターケアを適切に行っている。	b	b				
		17 (8)	学校は社会見学、現場見学、個別現場実習を適切に計画し実施している。	a	a	a	a	b	a
	教職員の資質の向上	18	学校は児童生徒・保護者との進路に関する懇談を適切に計画し実施している。	b	a				
		19	学校は児童生徒・保護者に進路や福祉制度等に対する情報提供を行っている。	b	a				
		20 (9)	学校はハローワーク、障害者就業・生活支援センター、各市の健康福祉部、作業所、事業所と連携をとっている。	a	a	b	a	b	b
危機管理体制の整備と防災安全教育	21	教職員は使命感や倫理観を持ち、児童生徒の成長や発達についての理解に努めている。	b	b					
	22	教職員は個人やグループ等で指導力や専門性を高めるための努力をしている。	c	c					
	23	学校は諸課題について校内研修会を計画的に立案し、実施している。	b	c					
課題教育 支援体制	人権教育	24	学校は家庭・地域・関係諸機関（警察署・消防署等）と連携した防犯・防災・避難訓練、交通安全教室を計画的に行い、災害対応能力等の育成に努めている。	a	a				
		25	学校は守秘義務・プライバシー尊重の観点に立って、個人情報の管理を行っている。	a	a				
	健康教育	26	学校は教育活動全体を通して、自分の大切さとともに他の人の大切さも認めることができる人権尊重の精神を培っている。	b	b				
		27	学校は発達段階に応じた保健教育を実施し、児童生徒が生涯にわたって主体的に健康づくりができるように指導している。	b	b				
		28 (10)	学校は特別支援教育を推進するに当たって関係諸機関（小中学校、高等学校、福祉機関、医療機関等）と連携をとっている。	b	a	a	a	c	b
特別支援教育の推進	29 (11)	学校は地域の小中学校等からの教育相談に応じている。	a	a	b	a	c	c	
	30	学校は地域社会や他の学校等に特別支援教育に関する情報の提供を行っている。	b	b					
一般的に	31 (12)	子どもは、学校の生活を楽しいと感じ、明るく学校生活を送っていると思えますか。				a			
	32 (13)	子どもを淡路特別支援学校に入学させてよかったと思えますか。				a			

<アンケート概要>

実施月：平成22年12月

	自己評価	関係者評価 (保護者)	関係者評価(地域)
対象者	教職員	保護者	学校評議員(6)、学校医(5)、薬剤師(1) 関係福祉施設職員(14)
対象者数	28	21	26
回収数	28	13	26

<評価について>

1 アンケートでは、各内容について、「思う」をA、「少し思う」をB、「あまり思わない」をC、「思わない」をDとし、Oをつけてもらった。保護者、地域へのアンケートでは、「わからない」をEとしてあげ、集計からは除外した。

2 集計では、A=2、B=1、C=-1、D=-2と数値化し、全回答の平均値を算出した。平均値が大きいほど、その内容に対する評価が高いとした。

そして、平均値 1.2以上 …… a
 平均値 0.8以上1.2未満 …… b
 平均値 0.4以上0.8未満 …… c
 平均値 0.4未満 …… d とした。

<保護者より>

- ・もっと早く特別支援学校の存在を知りたかった。
- ・この学校に入学することができ、たくさんの出会いがあり、子供を自然豊かな環境の中で過ごさせていただいたこと感謝しています。できれば最後の年で卒業を迎えたかったです。新しい学校での出会いに希望をもって送り出したいです。本当に職員の皆様、先生方に心からお礼を言わせていただきたいです。学校が閉校になることは残念ですが、とても温かい年月を安心して過ごさせていただきありがとうございました。

<地域より>

- ・五色町にあった支援学校がなくなるというのは残念に思う。しかし、洲本の方は場所も広く、学校としてはよいかも知れない。
- ・地域交流を活発することにより、障がい者有する方への理解も進むと思うので積極的に交流を図っていくことを願う。
- ①生徒は全島から来ているので、近くの小中学校だけでなく、南あわじ市や淡路市の学校との交流を図ってはどうか。
- ②「あわじ特別支援学校の文化祭はおもしろいよ」と地域内で住民が噂するような内容を盛り込み、多くの方に足を運んでいただけるようにする。
- ・35年間お疲れさまでした。さまざまな障害を持った生徒さんに対し、丁寧に対応されるのは大変だと思いますが、今まで以上に工夫されることを希望します。
- ・長年密な連携により障害児福祉の向上にご協力いただきましてありがとうございました。今回の閉校に関してはともに歩んできたこともあり非常に寂しく、また今後の利用者の通学に対し不安に思うところがあります。統合して「あわじ特別支援学校」となりましても、当園の理念である利用者本位の支援のために、より密な連携に心掛けたいと思っております。よろしくお願いたします。
- ・「国の・・・」「文科省の・・・」ではなく、できる限り地域のニーズに寄り添った学校運営を期待します。
- ・環境が変わるとまどう利用者さんのおられると思いますので、よろしくお願いたします。

<改善方策>

- ・授業参観や学校行事は、PTA以外にも広く地域へ広報し、参加を呼びかける。
- ・多様化対応非常勤講師など校外専門家を活用して多彩な教育活動を行うとともに、教員の指導力をさらに向上させる。
- ・児童生徒の実態把握、理解についてのケース研究の充実をさらに図る。
- ・教員個々が研究会等に積極的に参加し、研修を深めるとともに、他教員や児童生徒に還元できるようにする。また、校内研修会の活性化を図る。
- ・特別支援教育コーディネーター研修受講を推進する。
- ・発展的統合をした「あわじ特別支援学校」の教育相談活動のPRをより広範囲に行う。

■ 評価上昇
 ■ 評価下降及びc評価